

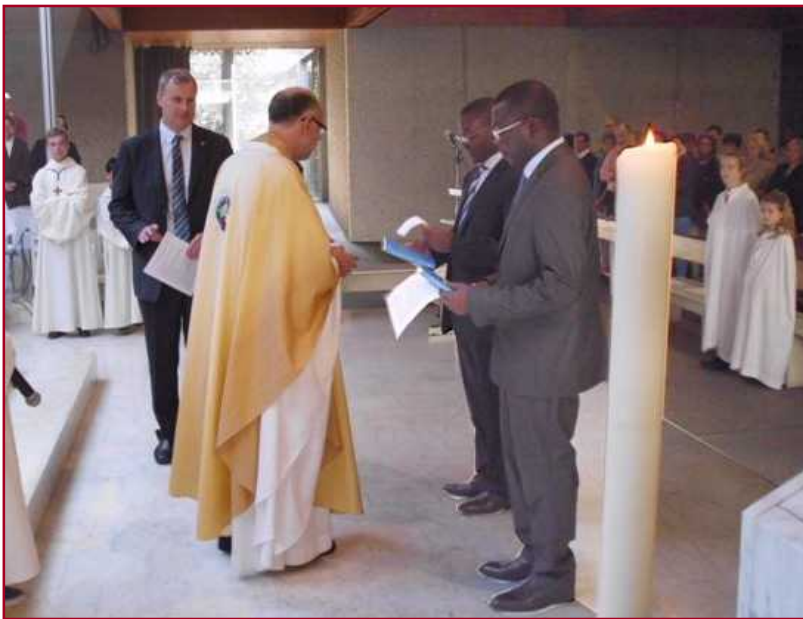
Via Latina 22



2015年5月
243号

総本部よりのお知らせーマリア会

ハイチ人ブラザーたち、 マリア会に正式に復帰



管区長のEddie Alexandre師による
Frantzy とJean-Eddy への「生活の規則」の授与
そのすぐ後ろ副管区長のJean-Marie Leclerc士

出てマリア会への入会を新たにしました。ミサの聖歌はPatrick Giraud 師のオルガン伴奏でマリアニスト家族の成人聖歌隊によって歌われました。15名の少年と10名の少女が侍者奉仕者として、中庭が花と緑に包まれ春の太陽に満たされた広い聖堂での輝かしい典礼に一層の華を添えていました。

式展の後 若者と年配者は軽食を取ながら長時間、交流と歓談の機会を楽しみました。そして、学校での司牧活動に年間を通して参加してきたこの2名の兄弟に招待された高校の生徒代表を含む50名の招待者は、食堂に集まり、兄弟的な食事を共にしてこのお祝いを喜び合いました。多くの人々の様々な形での献身的奉仕によって、この日は信仰の証し、および感謝のマグニフィカトになりました。

2人の兄弟に祝辞を送るとともに、彼らに私たちの兄弟的支援を約束します。

2015年4月12日(日)、午前10:30、ボルドー地区マリアニスト家族は、Sainte Marie Grand Lebrun で捧げられたハイチ人2名のブラザー、Frantzy PerierとJean-Eddy Pierreがマリア会の正式メンバーに復帰する家族のための一般ミサに与りました。二人はフランス管区長のEddie Alexandre師が司式するミサで、MadeleineとVerdelaisの共同体の兄弟たちに見守られながら、清貧、貞潔、従順の誓願を新たにしました。この機会にHervé Guillo du Bodan士が出席したことは、ハイチに於けるマリア会の苦難の歴史を物語るものでした。

副管区長のJean-Marie Leclerc士が名前を呼び上げ、2名の兄弟は前に



Frantzy

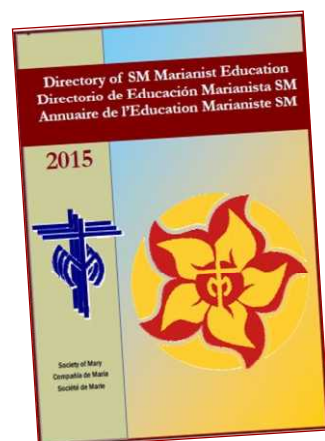


Jean-Eddy

2015年のマリア会教育の統計

“すべての宣教活動の目的は信仰の育成である。私たちの行為は直接間接この目的に奇与するためである。そのためにこそ私たちは微力を教会の普遍的使命にささげる。”（「生活の規則」 5 - 1 条）

2015年 マリア会教育要覧の電子版が全教育部補佐あて送付されました。この電子版のコピーは私たちのwebsiteからダウンロード出来ます：<http://marianist.org/site.php?menuaccess=254>。情報として以下に、この資料から基本統計を提供し皆さんと共有します。



行政単位	学校数	生徒数	教員数	管理職	会員数
アルゼンチン	4	6330	775	18	13
チリ	4	4783	185	32	15
コロンビア・エクアドル	3	4039	206	19	9
東アフリカ	7	3751	163	33	22
スペイン	17	21653	1392	81	46
フランス	11	12208	821	428	27
コートジボワール	2	2612	103	32	11
イタリア	1	484	56	4	9
日本	4	6795	485	65	12
韓国	1	740	50	6	3
メリバ	3	4734	240	26	29
オーストリア	3	2467	226	20	2
ペルー	4	5734	389	72	2
トーゴ	3	1378	103	20	21
米国（大学以外）	17	10054	818	331	25
米国（大学）	3	17846	1190	1990	53
米国（合計）	20	27900	2008	2321	78
インド	6	2845	67	17	24
総計		108.453	7.269	3.194	323

註：

1. 私たちの学校総数は93校です。
2. 17校は男子生徒のみです。
3. 76校が男女共学です。
4. 35校では幼児教育も行われています。
5. 初等教育が行われているのは51校です。
6. 中等教育が行われているのは81校です。
7. 3校で技術養成がなされています。
8. 大学数は3校です。
9. 22校が寄宿制度を採用しています。

マリア会RAYMOND ROUSSIN 名誉大司教

2015年4月24日、カナダのマニトバ州、ウィニペグで、マリア会員 Raymond Roussin 大司教が75歳で帰天したとの報は、大きな悲しみでした。6年前から、大司教は姉妹の Lucille Roussin Lang のお世話を受けていました。

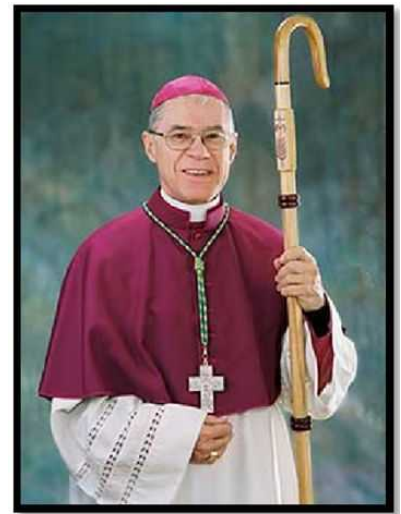
Raymond Roussin は、1939年6月17日、カナダのマニトバ州、セント・ビタルにて Marcel と Germaine Roussin 夫妻の息子として生まれました。

彼は1955年にミズーリ州のカークウッドにあるセントルイス管区の志願院に入り、セント・ボンフェイス近くのマリアニストが運営する Provencher 校に通いました。1957年ケベック州のレヴィでの修練記と初誓願の後、1957-1958年は Maryhurst で、1958-1960年はテキサス州サンアントニオのセント・メアリーズ大学で、学生修道者として過ごしました。彼の初めての仕事は、1960-1963年、ミズーリ州セントルイスのシャミナード予備校での教師と学生舎監の任務でした。ほとんどが彼より背が高かった彼の学生は、自分たちの荒削りな行動をうまく統制する上での彼の如才なさと駆け引きのセンスなどをよく覚えています。曰く、“Ray 士は学校の Canning Hall 寮に住む私たちにとって良き指導教官でした”と。

ケベック州サン・タンセルムとセントルイス、McBride 高校で教えた後、1966年に Ray 士はスイス、フリブールのマリア会神学校で神学生となり、そこで彼は神学修士号を得て、1970年に司祭に叙階されました。彼はケベック州カップ・ルージュに戻り、1年間、共同体の司祭と院長として任務に就きました。それから、彼は1972-1979年、セント・ボンフェイスに戻り、1972-1979年は院長として、1980-1987年はカナダ管区長として、奉仕しました。ウィニペグで2年過ごした後、彼は1989-1990年、インドのベンガルルでサバティカルの1年を過ごしました。彼は1990-1995年、再びセント・ボンフェイス共同体の院長となりました。

1995年、Raymond 師は司教職に選任され、その年の6月14日、サスカチュワン州、グラベルバーグ教区の司教に任命され、その教区がレジャイナ大司教区とサスカトゥーン教区へ再編される過程を通して、教区長としての任務を果たしました。彼の確固とした穏やかなリーダーシップのスタイル、彼の勇気、優しさ、思いやりは、調整役として大きな尊敬を受けました。それから、1999-2004年、ブリティッシュ・コロンビア州のヴィクトリア教区(バンクバー島)の司教、そしてその後、50万人ものカトリック信者を有する西部カナダで最大の、バンクーバー市の大司教に任命されました。

2009年、Roussin 大司教は深刻なうつ病に苦しめられており、ローマ法王に時期尚早の辞職願を出し、そしてウィニペグに引退し、そこで帰天しました。2015年4月28日、ウィニペグのサンタンドレ大聖堂で彼のためにミサが捧げられました。葬儀ミサそのものは、5月2日、彼が生まれ、初等教育を受け、マリアニストの使徒職を行った大司教区のレッドリバーの対岸にあるセント・ボンフェイス大聖堂にて執り行われました。



“彼が安らかに休まれますよう”

スペインマリアニストへの報賞授与



2015年1月28日に“Bravo賞”を受賞した iMisión 本部スタッフ

マリア会員, Daniel Pajuelo師と無原罪のマリア女子修道会, Xiskya Valladares修道女によって開設されたサイト“iMisión”が1月28日に“Bravo賞”を受賞しました。この賞は毎年スペイン司教協議会で選ばれる新技術を反映した最も価値あるものです。“iMisión”はPajuelo師とValladares修道女によって2012年6月に開設されました。このサイトは、“デジタル大陸”を福音化するという観点で、ヨーロッパとアメリカの様々な国の修道者と一般信徒の交流を可能にするものです。

私の召命の証言の分かち合い



2014年12月のVia Latina 22で述べていますが、奉献生活の年を通して、私たちはブラザーたちの召命に関する証言を公表しています。最初のものには既に寄せられてサイト：www.marianist.orgに証言が発表されています。

(“奉献生活の年”のページを開けて下さい)あなたの固有の証言をsecretariatsm@smcuria.it に送ってください。出来ればあなた自身の写真を付けて。(Via Latina 22-No. 238ページ4の質問を参照ください。)有難う御座います。

アドレス変更

- **Community of Fribourg (SU):**
(26) 466 15 79
- **Fr. Gerald T. Chinchar (US):**
Gerald.Chinchar@gmail.com
- **Fr. Paul Neumann (US):**
pneumann@stmarytx.edu
- **Bro. Fred Stovall (US):**
fstovall@stmarytx.edu
- **Bro. Francis Annunziata (EA):**
fasm4892@yahoo.com

総本部通信、最近の送信

- **訃報:No12-13**
- **4月21日:**マリア会教育局長、Max Magnan士から全ての教育部長宛てに、2015年度の教育要覧が送付されました。

総本部日程

- **5月1-17日:**総長評議員会の3部門局長(AF, MMc & MAX)のマリア会日本地区訪問

